

令和2年度
(2020年度)

事業報告書

社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会

《目 次》

- 令和2年度 社会福祉法人枚方市社会福祉協議会 事業報告…………… 1～42
- 令和2年度 社会福祉法人枚方市社会福祉協議会 決算報告…………… 43～86

【社会福祉事業区分】

サービス区分名	事業報告(ページ)
1. 法人運営事業	2
2. 住民会費等事業	11
3. 助成事業	12
4. 共同募金配分金事業	14
5. 小地域ネットワーク活動推進事業	15
6. ボランティア活動推進事業	18
7. 献血推進事業	18
8. コミュニティソーシャルワーカー配置事業	20
9. 福祉サービス利用援助事業	22
10. 精神保健福祉推進事業	22
11. 生活福祉資金貸付事業	24
12. 住宅改造助成事業調査事務事業	25
13. 乳児家庭全戸訪問事業	26
14. 地域包括支援センター(こもれび)事業	27
15. 地域包括支援センター(ふれあい)事業	
16. 居宅介護等事業	30
17. 移動支援事業	32
18. 地域活動支援センター(ゆい)事業	33
19. 障害者活動支援事業	34
20. 共同生活援助事業	35
21. 成年後見等事業	35

【公益事業区分】

サービス区分名	事業報告(ページ)
22. 総合福祉会館管理運営事業	37

社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会 事業報告

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大に振り回されることになった1年でした。それはあまりに想定外で、その影響が直撃した若年層、特に経済的弱者の割合が比較的多いひとり親世帯やひとり暮らしの大学生等の困窮など、この社会が抱えていた課題がより明確に可視化されました。無論、高齢者への影響もありました。介護保険サービスの利用控えやいきいきサロン等の居場所の開催自粛など、日常的な外出機会が失われることで認知症の症状進行や筋力低下等、かなりの割合でADLやQOLの低下が見られました。この状況は未だに回復する兆しが見えず、正に現在進行形の問題となっています。

このような中、本会としても迅速かつ積極的な対応を迫られました。多数の相談者が訪れた生活福祉資金のコロナ特例貸付への対応やCSWによる生活困窮の相談対応、2か所の地域包括支援センターによる高齢者へのフォローのみならず、歳末助け合い募金配分金を活用した若年層への緊急食品等支援や今年度からスタートした「あなたの想いを届けます基金制度」によるランドセル購入補助等、職員は非常事態の中、工夫を重ねながら様々な取り組みを行いました。

1. 法人組織の強化

○経営戦略プログラム（第3期）の推進

経営戦略プログラム（第3期）計画期間4年目の取り組みとして、ファンレイジングの一環としての冠基金（あなたの想いを届けます基金）制度を立ち上げ、2人の方から寄付を受けて新たな基金（木田基金・幸子基金）を設立しました。広報機能の強化として、社協だよりのフルカラー化、公式サイトのリニューアルが完了し、SNS 広報にも着手。YouTube チャンネルの立ち上げも行い、順調に登録者と視聴者を伸ばしました。

2. 地域福祉活動

○校区福祉委員会活動

各校区でのサロン活動や行事が中止される中、孤立しがちな要援護者に対して校区福祉委員会が中心となり、電話やポスティングによる見守りや安否確認、情報提供等を実施し、地域住民同士の繋がりを絶やさない仕組みづくりを行いました。

また、コロナ禍でも孤立する事なく楽しく過ごせるよう、要支援者を中心に住民参加型の機関誌「社協ニコニコ新聞」を発行し、集まることができない中でも、孤立化を防ぎ、支援のニーズを早期発見できる仕組みを確立することができました。

○CSW（コミュニティソーシャルワーカー）

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、生活困窮に関する相談や外出自粛による孤立への不安に関する相談が急増しました。そのような中、CSWはコロナ禍で急激に生活環境が変化し、今後の生活への不安を感じている人に寄り添いながら支援を行いました。また、通常行っている食糧支援の幅を広げ、よりたくさんの人に長期間にわたる支援をすると同時に、市内の事業所と連携しながら食糧支援の取り組みを進めることができました。

3. 在宅福祉活動

○障害のある人の地域生活を支える取り組み

地域支援センターゆいでは、新型コロナ感染拡大による不安等の相談に対応しました。また、センター開所時間を短縮するなど、工夫しながら各種活動を行いました。

本会が実施するホームヘルプサービスやガイドヘルプサービス事業のスタッフは新型コロナウイルス感染拡大の状況にあっても、障害のある人が地域生活を維持するために欠かせない在宅福祉サービスを担うエッセンシャルワーカーとして、感染防止に細心の注意を払いながら各種サービスを提供しました。

1. 法人運営事業

(1) 理事会開催状況

(単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
4/1	※新型コロナウイルス感染拡大のため決議の省略	・ 事務局長の任免について	
6/4	※新型コロナウイルス感染拡大のため決議の省略	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成31（令和元）年度事業報告及び決算の承認について ・ 決裁規程の一部改正について ・ 役員候補者の評議員会提出について ・ 定款の一部改正について ・ 令和2年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分収入支出補正予算（第1回）について ・ 評議員選任・解任委員の選任について ・ 評議員会の決議の省略について ・ 社会福祉充実計画について（報告） ・ 目的別積立金について（報告） ・ 基金・積立金について（報告） 	
6/29	ラポールひらかた大研修室	・ 副会長及び常務理事の選任について	理事 11 監事 2
9/15	ラポールひらかた大研修室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会長・常務理事の職務執行状況について（報告） ・ 法人経営部会の報告について（報告） ・ 新基金の創設及び規程の制定について ・ 評議員候補者の推薦について ・ 評議員選任・解任委員会の開催について ・ 令和元年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分収入支出補正予算（第2回）について ・ 給与改定について ・ 評議員会の招集について ・ 公募事業助成基金（市民ふくし活動チャレンジ基金）の募集について ・ 基金・積立金の状況について（報告） ・ 経営戦略プログラム（第3期）について 	理事 14 監事 2
12/15	※コロナウイルス感染症拡大防止のため決議の省略	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共同募金配分金事業 令和3年度の配分計画（案）について ・ 役員候補者の評議員会提出について ・ 非常勤役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について ・ 令和2年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分収入支出補正予算（第3回）について ・ 評議員会の決議の省略について ・ 公募事業助成基金（市民ふくし活動チャレンジ基金）助成について（報告） ・ 基金・積立金の状況について（報告） 	

3/16	ラポールひらかた 特別会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・会長・常務理事の職務執行状況について(報告) ・非常勤役員等の報酬及び費用弁償費に関する規程の一部改正について ・総合福祉会館福祉相談・福祉情報提供等事業の新規受託について ・仮称) 枚方市権利擁護(成年後見) 支援センターの新規受託について ・令和3年度枚方市社会福祉協議会機構改革について ・事務局規程の一部改正について ・決裁規程の一部改正について ・文書取扱規程の一部改正について ・経理規程の一部改正について ・給与に関する規則の一部改正について ・育児休業等に関する規則の一部改正について ・介護休業等に関する規則の一部改正について ・契約職員就業規則の一部改正について ・役員等賠償責任保険契約締結について ・組織会員の入会について ・令和2年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分収入支出補正予算(第4回)について ・評議員会の招集について ・共同募金配分金事業 令和3年度の配分計画(案)の改正について ・令和3年度枚方市社会福祉協議会事業計画及び予算(案)について ・基金・積立金の状況について(報告) ・会長専決による規程の改正について(報告) ・財務分析について(報告) 	理事 15 監事 2
3/26	ラポールひらかた 特別会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局長の任免について ・令和2年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分収入支出補正予算(第5回)について 	理事 11 監事 2

(2) 部会開催状況

法人経営部会

(単位:人)

月日	場 所	内 容	出席数
9/7	ラポールひらかた 研修室3	・新基金の創設及び規程の制定について	5

(3) 評議員会開催状況

(単位:人)

月日	場 所	内 容	出席数
6/23	※新型コロナウイルス感染拡大のため決議の省略	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31(令和元)年度枚方市社会福祉協議会事業報告及び決算の承認について ・定款の一部改正について ・役員を選任について ・令和2年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分収入支出補正予算(第1回)について ・各種規則・規程の改正について(報告) 	

9/30	メセナひらかた 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分収入支出補正予算（第2回）について ・公募事業助成基金（市民ふくし活動チャレンジ基金）について（報告） ・各種規則・規程の改正について（報告） ・経営戦略プログラム（第3期）について（報告） 	評議員 26 理事 11 監事 2
12/25	※新型コロナウイルス感染拡大のため決議の省略	<ul style="list-style-type: none"> ・役員の選任について ・非常勤役員等の報酬及び費用弁償費に係る規程の一部改正について ・令和2年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分収入支出補正予算（第3回）について ・各種規則・規程の改正について（報告） 	
3/26	ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤役員等の報酬及び費用弁償費に関する規程の一部改正について ・令和2年度枚方市社会福祉協議会社会福祉事業区分収入支出補正予算（第4回）及び（第5回）について ・令和3年度枚方市社会福祉協議会事業計画ならびに予算（案）について ・各種規則・規程の改正について（報告） ・財務分析について（報告） 	評議員 24 理事 11 監事 2

（4）枚方市社会福祉協議会経営戦略プログラム（第3期）（H29年度～R3年度）

第3期プログラムは4年目となり、当初の主な取り組み27項目を進行状況やアプローチ方法により14項目に再編、進行チームリーダーと課題の整理を行った。

財源確保のために新たな基金（冠基金）の創設や広報活動の強化のため YouTuber チャンネルや Twitter、Facebook など SNS の活用を行った。

（5）地域福祉活動計画

第6次地域福祉活動計画の初年度として、進捗状況の報告や地域での活動状況の共有を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大のため、書面での報告とした。コロナ禍での見守り活動や、地域で工夫されている活動等を報告し、各委員からの意見、評価をいただいた。

（6）公募事業助成基金（市民ふくし活動チャレンジ基金）助成事業

市民が自らの力で問題を解決していくことを支援するため、令和3年度分公募事業助成基金「市民ふくし活動チャレンジ基金」の助成団体を募集。スタートアップ助成の申請が4件、継続助成の申請が2件、スタートアップ助成延長の申請が1件あった。

選考委員会での書類審査およびプレゼンテーションを実施した結果、3件のスタートアップ助成団体、2件の継続助成団体、1件のスタートアップ助成延長団体を決定した。

（単位：円）

助成決定団体	内 容	金 額
NPO 法人エスペランサ (スタートアップ助成)	市内を拠点にひきこもり経験者による講演会の開催。また、当事者会・家族会、ボランティア活動を通して社会に出るきっかけや居場所づくりを目指す。	356,000 (1年間)

NPO 法人ハーモニッククラブ (スタートアップ助成)	親子の場づくりや保育士の担い手の応援を目指す。また、幅広い世代の人たちへ心の癒しになる絵本ライブを届けるため、プロジェクターを使用し、映像を映しながら歌と音楽を交えた朗読などで五感に訴えた体験型の絵本ライブを開催。	452,000 (1年間)
みんなでつくる学校 とれぶりんか (スタートアップ助成)	不登校・ひきこもり・障害などさまざまな生きづらさを抱えた子ども・若者が少しでも社会的な生活へと繋がっていけるように若者たちのエネルギーを引き出しチャレンジしていくプロジェクトとして「子ども若者チャレンジド・フェスタ」(仮称)を発足。 また、毎月様々な活動にチャレンジする「レインボー・チャレンジプロジェクト」も開催予定。	500,000 (1年間)
マタニティチャームズ (継続助成)	産前産後の不安や悩みを共有、傾聴する場として、マタニティカフェの開催やオンラインでのサロンを開催。また、校区福祉委員会が運営する子育てサロンをはじめとするさまざまな団体の企画に、妊娠中の親が参加しやすいような出張講座を開催予定。	200,000 (3年間)
みんなの居場所 くつろぎミモザ (継続助成)	「三世代が楽しく生活する、健康年齢を引き上げる、近隣の絆を深める」ことを目的に、実践拠点の役割を担う。また、地域の中の様々な人的資源を発掘し、活動の場を提供する。より多くの人々が住み慣れた地域のそれぞれが主体となって自分らしく輝きながら、触れ合い、協力し合って生活する新たな街づくりの拠点を目指す。	200,000 (2年間)
高次脳機能障がい 当事者家族会 (スタートアップ助成延長)	高次脳機能障害のある人とその家族などが情報交換や悩みを話せる場としてサロンを開催。また、高次脳機能障害について、正しく知ってもらうための講演会や、当事者と家族による講演会などのメニューを作り、市民に広く周知できるように計画する。	500,000 (令和2年 ~3年)

(7) 広報活動

① 社協だよりの発行

(単位：部)

号	発行日	配布部数	号	発行日	配布部数
148	6/1	186, 516	149	9/1	187, 655
150	12/1	187, 784	151	3/1	187, 869

※年4回発行、「広報ひらかた」と同時に、市内全戸配布

② ホームページ・SNS (ソーシャルネットワーキングサービス) による広報

- ・公式ホームページのリニューアルが完了し、随時情報を発信した。

- ・Facebook 公式アカウントを開設し、随時情報を発信した。
- ・Twitter 公式アカウントを開設し、随時情報を発信した。
- ・YouTube チャンネル「ひらかた社協ちゃんねる」を開設し、動画の配信を行った。

(8) ひらかた社協ふくしフェスティバル

隣接地区にて「枚方市総合文化芸術センター」建設中で円形広場等が利用不可のため開催できなかった。

(9) 第40回枚方ふれあいフェスティバル

新型コロナウイルス感染拡大により中止。

(10) 第31回枚方市健康・医療・福祉フェスティバル

新型コロナウイルス感染拡大により中止。

(11) 善意銀行事業

①善意銀行金銭口座収支計算書

(単位：円)

収 入		支 出		
前年度繰越金	4,868,961	指 定 預 託	福 祉 施 設 団 体 等	20,000
一般預託	0			
指定預託	20,000			
預金利息	0			
計	4,888,961	計		20,000

収入・支出残金 4,868,961円は、次年度へ繰り越し。

(12) 枚方市民生委員児童委員協議会の運営支援

民生委員・児童委員は住民の身近な相談相手であり、また支援を必要とする人を専門機関へつなぐパイプ役ともなっている。民生委員・児童委員が地域で円滑に活動が行えるよう事務局として民児協の運営を支援した。本年度は新型コロナ感染拡大のため、予定していた啓発活動や多くの行事が中止となったが、リモートによる研修を受講するなど、民生委員・児童委員のスキルアップに努めた。

実 施 日	事 業 内 容
4月 1日	民児協ひらかた第142号発行
1日	子育てマップ2020発行
6日	枚方市民生委員・児童委員委嘱状交付式
9日	新任民生委員児童委員研修会（枚方市） 役員会
6月 12日	会計監査
17日	役員会
19日	総会（書面による総会）
7月 9日	役員会・校区委員長会
第4週	地区委員会（14地区）
8月 3日	枚方市民生委員・児童委員委嘱状交付式
20日	新任民生委員児童委員研修会（枚方市） 役員会
9月 10日	役員会・校区委員長会
第4週	地区委員会（14地区）

10月 8日 第4週	役員会・校区委員長会 地区委員会（14地区）
11月12日 第4週	役員会・校区委員長会 地区委員会（14地区）
12月2日 3日 4日	枚方市民生委員・児童委員委嘱状交付式 新任民生委員児童委員研修会（枚方市） 第7回枚方市民生委員・児童委員大会 「障害者週間啓発活動」（福祉団体連絡会主催行事に協力）
3月11日 11日 22日 29日	役員会 河北ブロック事務局担当者会議 役員会 校区委員長会・総会

（13）枚方市赤十字奉仕団の運営支援

人間の命と健康、尊厳を守る人道の実現をめざす赤十字運動の推進を図るため、枚方市赤十字奉仕団の運営支援を行った。今年度の活動については、新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けたが、その中で、活動資金の募集に関しては期間を延長するなどの工夫を凝らしながら実施した。

活動資金募集の実績（令和2年5月1日～令和3年3月31日）

枚方市地区分	10,421,819円
府支部直送分	5,413,358円
合計	15,835,177円

奉仕団活動状況

・役員会 7/6、9/11、12/7、3/11

（単位：人）

月日	場所	内 容	出席数
6月		連合分団長会議（書面審議） ・令和元年度 枚方市赤十字奉仕団事業報告 等	43
7/29	ラポールひらかた 大研修室	連合分団長会議 ・年間予定の変更について 等	31
10/12	ラポールひらかた 大研修室	連合分団長会議 ・枚方市赤十字奉仕団について 等	31
3/16	ラポールひらかた 大研修室	連合分団長会議 ・令和2年度決算見込について 等	28

① 部会活動状況（役員会は除く）

ア) 婦人部会

（単位：人）

月日	場所	内 容	出席数
10/27	ラポールひらかた 研修室1	婦人部会会議 ・令和元年度事業報告及び決算報告について（案）等	18
3/23	ラポールひらかた 研修室1	婦人部会会議 ・令和2年度決算見込について 等	19
3/23	ラポールひらかた 研修室1	管内研修（婦人部会会議と同時開催） 内容：「みんなで力をあわせて安心・安全まちづくり」 講師： 枚方市 危機管理室	19

イ) 家庭看護部会

*参加協力事業（役員会は除く）

(単位：人)

月 日	場 所	内 容
9/15	ラポールひらかた 研修室1	定例会 ・高齢者支援について ～高齢者のちょっとしたお困りごとに対応するために～
10/20	ラポールひらかた 研修室1	定例会 ・災害時高齢者生活支援講習 ～災害が起こったときにあなたが支援できること～
3/16	ラポールひらかた 研修室1	定例会 ・新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう ～負のスパイラルを断ち切るために～

(14) 枚方・交野地区保護司会の運営支援

保護司の職務を支援する組織として枚方・交野保護区(枚方市・交野市)の範囲で活動を行う枚方・交野地区保護司会の事務局として、定期研修(年4回)・理事会・定例会等の定期事業の他に、更生保護関係組織(更生保護女性会・BBS会・協力雇用主会など)との連携支援、7月を強調月間とする「第70回社会を明るくする運動」の運営支援を行った。

また、地域更生保護活動の拠点でもある「枚方・交野地区更生保護サポートセンター」において、保護司の処遇活動の支援のほか、地域の教育・防犯・社会福祉関係機関や団体との連携、犯罪・非行の予防活動、更生保護関係の情報提供、住民からの各種相談に応えた。

保護司数は、103人(令和3年3月31日現在)

①定期事業 (総会・定例会・研修事業など)

月日	場 所	内 容
4/8	ラポールひらかた	理事会 *緊急事態宣言発令に伴う保護司会運営方針について *第70回社会を明るくする運動について
5/8	サポートセンター (ひらかた)	監 査 *平成31年・令和元年度 事業報告・決算
5/18	サポートセンター (ひらかた)	理事会 *第70回社会を明るくする運動について *平成31(令和元)年度 事業報告・決算について
5/28		決算総会・定例会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。今後の予定並びに平成31(令和元)年度 事業報告・決算に関する議決書を送付し、書面議決にて承認
6/18	交野市立保健福祉 総合センター	理事会 *平成31(令和元)年度 事業報告・決算に関する 書面議決報告 *定例会提出案件
		定例会 *退任保護司・新任保護司・春の褒章受章者紹介 *再任保護司委嘱状伝達 *第70回社会を明るくする運動について 等 (第1期定期研修『転居・所在調査について』は延期)
7/8	サポートセンター (ひらかた)	新任保護司研修会(令和2年5月25日委嘱者) 『地区保護司会活動について』
7/16	交野市立保健福祉	理事会 *定例会提出案件について

	総合センター	定例会 *各部の報告について 各部会 *各部の活動について
8/20	交野市立保健福祉 総合センター	理事会 *合同研修会の運営・定例会案件について 保護司会・更生保護女性会・BBS会・協力雇用主会 合同研修会 テーマ『再犯防止推進計画について』 講師：大阪保護観察所 統括保護観察官 中山 恭行 氏 大阪矯正管区 更生支援企画課 矯正専門職 五家 祐馬 氏 定例会 *各部の報告について
9/17	交野市立保健福祉 総合センター	理事会 *特例再任保護司・定例会提出案件について
10/2	交野市立保健福祉 総合センター	理事会 *定例会提出案件について 定例会 *名誉会員・退任保護司紹介 *再任保護司委嘱状伝達 *各部の報告について (第2期定期研修『社会資源の活用について』は自習)
10/29	豊中市立 文化芸術センター	大阪更生保護大会
11/13	交野市立保健福祉 総合センター	理事会 *指名推薦委員会・定例会提出案件について 定例会 *大阪更生保護大会 受賞者表彰状伝達式 *各部の活動について
12/17	交野市立保健福祉 総合センター	理事会 *指名推薦委員会・特例再任保護司について *定例会提出案件・定期研修について 第3期定期研修『生活環境の調整について』 定例会 *指名推薦委員会について *各部の報告について
3/12	ラポールひらかた	理事会 *令和3年度事業計画・予算(案)について
3/18	ラポールひらかた	理事会 *令和3年度事業計画・予算(案)について 予算総会 *令和3年度 事業計画・予算(案)について *令和3・4年度活動方針について *役員改選について 第4期定期研修『転居・所在調査について』 定例会 *名誉会員・退任・新任保護司紹介 *各部からの報告について
3/25	サポートセンター (ひらかた)	新任保護司研修(令和3年1月25日委嘱者) 『地区保護司会活動について』

②役員調整会議の開催(9回) 4/3、7/9、8/12、9/14、11/10、12/9、2/17、2/26、3/29

③候補者検討協議会の開催(3回) [中部] 8/19 [東部] 11/20 [交野] 9/18

④候補者検討協議会の開催(3回) [中部] 8/19 [東部] 11/20 [交野] 9/18

⑤更生保護啓発活動

月 日	場 所	内 容
5/8	ラポールひらかた	枚方・交野地区社会を明るくする運動実施委員会 第70回社会を明るくする運動について ※緊急事態宣言発令により中止。関係団体に議決書を送付し、書 面議決にて実施要綱承認

7月～9月	第70回社会を明るくする運動作文コンテスト(小中学生対象) 応募数 737点 両市中学3年生に、社明運動ロゴ入りクリアファイル配布 4,005枚
-------	---

⑥関係団体との連携・懇談など

- ・学校との連携事業(4回)
樟葉西中学校(7/20)、山田中学校(8/5)、長尾西中学校(9/14)、津田中学校(9/24)

⑦広報活動

- ・広報誌「みのり」特集号の発行(発行部数:3,000部)
※通常の「みのり」は休刊。作文コンテスト受賞6作品を掲載した特集号を作成
- ・ホームページのリニューアル
- ・市広報等への掲載 広報ひらかた7月号・8月号 広報かたの7月号

⑧更生保護サポートセンターの運営

- ・名称 「枚方・交野地区更生保護サポートセンター(ひらかた・かたの)」
- ・開館日時 サポートセンター(ひらかた) 火・水・木・土・日曜日 10時～16時
サポートセンター(かたの) 月・火・木・金・土曜日 10時～16時
(年末年始及び国民の祝日、その他会長が指定する日を除く)
- ・所在地 サポートセンター(ひらかた) サンプラザ1号館201号室
サポートセンター(かたの) 交野市役所別館2階
- ・開館状況 開館日数 269日 企画調整保護司の従事者数 延べ534人
対応件数 197件 来所者数 148人
- ・企画調整保護司会議(13回)
ひらかた 9回
かたの 4回

(15) 枚方市社会福祉施設地域貢献連絡会の運営支援

市内の社会福祉法人が、連携・協力し、福祉課題の解決に向けた取り組みを行うことを目的に活動。本年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で啓発イベントは中止となったが、研修会については、講演内容をDVD化し、各法人または施設単位で実施した。

また、昨年度開設した会員用のホームページをさらに充実させた。

加入法人:59法人(令和3年3月31日現在)

①総会の開催状況

月日	場 所	内 容	出席数
7月		書面審議 ・第1号議案 令和元年度 事業報告について ・第2号議案 令和元年度 決算について ・第3号議案 令和2年度 事業計画(案)について ・第4号議案 令和2年度 予算(案)について ・第5号議案 役員の改選について	58法人
10月		書面審議 ・第1号議案 役員の改選について	59法人

②役員会の開催状況

(単位:人)

月日	場 所	内 容	出席数
7/4	ラポールひらかた 集会室	令和2年度の行事予定について 等	7
10/1	ラポールひらかた 研修室4	役員の改選について 等	7

3/22	ラポールひらかた 研修室 4	アウトリーチ型研修について 等	9
------	-------------------	-----------------	---

③研修会等の開催

(単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
2月		【研修会】 テーマ「施設内虐待の防止」 講師：花園大学 社会福祉学部 教授 福富 昌城氏 ※DVD化し各法人または施設単位で研修	

④広報、啓発資材の製作

- ・市民向け啓発資材の作成（マスクケース：2,000枚）

⑤その他の取り組み

- ・会員用ホームページの開設

→会員向けホームページの内容をバージョンアップし、災害発生時等に提供可能な資材や物資に関する情報を施設間で共有できる機能を追加することで、いざという時に施設間で、また必要に応じて地域団体と連携していくことを可能にした。

（16）冠基金（あなたの想いを届けます基金）事業

寄付を希望する人が、「何かの形で地域に貢献したい」「自らが望む福祉活動に役立てて欲しい」等、寄付者の想いを本会が聴き取りながら実現に向けて一緒に考え、具体的な形で市民に届ける基金制度を10月から開始した。基金設立のための寄付金は300万円以上としている。事業開始後、2人の寄付希望者があり、2件の新たな基金を設立した。

①木田基金

500万円 木田きせ様（故人）からの遺贈寄付により設立。

令和2年度は「木田さんからのささやかなお祝いプロジェクト」により、経済的に苦しい小学校新入生がいるひとり親世帯を対象に「ランドセル購入補助（上限2万円）」を行い、14人の対象者に補助金を支給した。

②幸子基金

800万円 幸子さまからの寄付により設立。

令和3年度中に何らかの幸子基金プロジェクトを実施予定。

2. 住民会費等事業

本会の自主性を高め、行政の福祉施策とは違った住民主体の地域福祉活動を進めるために、校区福祉委員会を窓口として、校区コミュニティ協議会や自治会等の協力により、住民会員の募集を行った。集まった会費は、校区福祉委員会への活動助成をはじめ、ボランティア活動支援や社協だよりの発行など、「誰もが安心して暮らせるふくしのまちづくり」を推進するために活用した。

（1）組織会員の状況

本会が地域福祉推進の中核機能を果たすことができる組織づくりを目的とした組織会員は、本会の基本的な構成員で、事業運営に参画する団体・機関であり、積極的な加入促進を行った。

◎組織会員数 169団体（令和3年3月31日現在）

①組織会員研修

新型コロナウイルス感染拡大により中止。

(2) 社協会員募集状況

7月を会員募集推進月間として、会員を募集

会員種別	会員数	詳細	
住民会費	15,527人	21,301口	10,650,500円
特別住民会員	1人	1口	20,000円
法人賛助会員	116件	125口	1,250,000円
福祉協力金			5,163,485円
		総計	17,083,985円

(会費の使い道)

校区福祉委員会活動助成(44校区)	8,580,677円
ひらかた社協だより印刷配布費	7,973,352円
社協紹介リーフレット作成費	145,860円
ボランティア活動推進	209,307円
住民会員募集事務経費	848,750円
合計	17,757,946円

※不足分 673,961円については、繰越金を充当

3. 助成事業

(1) 枚方市福祉団体連絡会

市内11の福祉団体が集まり、啓発活動や研修会、障害者週間にキャンペーン活動を行った。しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大のため多くの活動を中止した。

① 全体会 6回 総会 1回 計7回

(全体会)

月日	場所	内容	出席数
6/24	第1回 ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> 役員紹介について 令和2年度 書面総会の結果報告について 今後の行事予定について その他 	11人
8/6	第2回 ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> 健康福祉総務課より「成年後見制度利用促進計画に関わるアンケート」説明 会員交流会について 今後の行事予定について 対市要望について その他 	10人
8/26	第3回 ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> 第2回交流会について 管内研修について 対市要望書について その他 	11人
9/23	第4回 ラポールひらかた 福祉団体共用ルーム	<ul style="list-style-type: none"> 第2回交流会について 管内研修について さわやかフェについて 障害者週間について その他 	10人
11/4	第5回 ラポールひらかた	<ul style="list-style-type: none"> 管内研修について 市回答会について 	10人

	研修室 1	・障害者週間について ・その他	
11/24	第 6 回 ラポールひらかた 特別会議室 1	・障害者週間について ・市回答会について ・その他	11人

(総会)

月 日	場 所	内 容	出席数
5/22	新型コロナウイルス 感染拡大のため 「書面総会」	・令和元年度事業報告・決算報告・監査報告について ・令和2年度事業計画(案)・予算(案)について ・規約の改正について	回答 11 団体

②企画委員会の開催 (年間 12回 連絡会役員 5人)

連絡会の案件調整及び主催事業の企画・検討を行った。

【開催日】4/6、6/18、7/29、8/17、8/20、9/2、10/6、10/22、11/25、1/8、3/11、3/25

③認知症カフェ「さわやかカフェ」の開催 (年間2回)

【開催日】11/10、11/24

④その他

- ・7月30日 市より昨年度要望に対する進捗状況の説明
- ・9月4日 要望書提出(健康福祉総務課へ)

⑤各種事業の開催

月 日	場 所	内 容	参加数
10/5	枚方市	交流会 遊覧船で淀川クルーズ	27人
10/19	ラポールひらかた 4階・大研修室	管内研修(講演会) テーマ:「健康な脳の作り方」 講 師: 元 摂南大学・大阪大学 薬学部教授 相本 太刀夫 氏	48人
3/29	信楽・水口方面	交流会 信楽たぬき村(絵付け体験) 水口 鹿深いちご園(いちご狩り)	21人

(2) ひとり暮らし老人会連絡会の活動支援

校区福祉委員会や民生委員児童委員協議会の援助のもと、各校区に結成された「ひとり暮らし老人会」の連絡調整を図り、校区福祉委員会や関係機関・団体との連携を密にし、組織の充実・強化を行い、ひとり暮らし高齢者の福祉向上を目的とする活動の支援を行った。

【ひとり暮らし老人会設置状況】 令和 3年 3月 31日現在

当該校区福祉委員会数	設置数	会員総数
45校区	32会	1,061人

①連絡会の開催状況

(ア) 役員会 6/17、7/15、8/19、9/16、11/18、3/17 計6回

(イ) 全体会

(単位:人)

月日	場 所	内 容	出席数
7/3	書面審議による総会	令和元年度 事業報告、決算書について 令和2年度 事業計画、予算書について	31 (回答)

8/20	ラポールひらかた 研修室1 (2部制)	1. 令和2年度 総会（書面による審議）の報告について 2. 令和2年度 年間スケジュールについて 3. 活動再開に向けたガイドラインについて 4. 『やすらぎ』40周年記念号の発行について 5. 住警器等配布モデル事業について 6. 関西医科大学 生活看護実習Ⅱの受け入れについて 7. 各会の活動状況など意見交換	27
------	---------------------------	--	----

② 学唱歌を歌う会「赤いベレー」

月例開催状況 ・年間4回（9月、10月、11月、3月） 232人（延べ人数）
主に、メセナひらかた大会議室及びラポールひらかた大研修室で活動

③ その他

枚方寝屋川消防組合の推薦を受け、一般社団法人全国住警器協会が実施する住警器等配布モデル事業に応募し、2会が火災報知器及び防災グッズの寄贈を受けた。

4. 共同募金配分金事業

(1) 赤い羽根共同募金（令和2年10月1日～令和2年12月31日）

自治会を窓口とした戸別募金、市内施設・病院等での募金箱の設置、法人募金・職域募金、学校募金等のほか、ボランティアグループ連絡会の協力を得て、京阪枚方市駅周辺で街頭募金を実施した。

募金総額 7,736,760 円

[共同募金の配分]

大阪府共同募金会からの配分金(令和元年度募金分) 1,673,829円
枚方市内のボランティア活動などに対し助成を行った。

(2) 地域歳末たすけあい募金の実施(令和2年12月1日～令和2年12月31日)

枚方地区募金会と社会福祉協議会との共催で実施。自治会や福祉施設・市内事業所の協力を得て募金活動を行った。

募金総額 9,672,653 円

[地域歳末たすけあい募金の配分]

大阪府共同募金会からの配分金(令和元年度募金分) 10,578,656円

(配分内訳)

(単位：円)

地域福祉活動支援助成	3,731,598
ひとり暮らし老人会運営助成	906,898
福祉団体等助成事業	473,820
小規模災害助成(火災)	255,000
生活困窮者物資助成	1,021,973
ふれあいフェスティバル助成	107,500
歳末ふれあい訪問事業	1,529,000
障害者ウォークラリー事業	79,950
障害者差別解消対策助成	100,000
居場所づくり支援助成	874,837

防災イベント・広報費等	1,498,080
合 計	10,578,656

5. 小地域ネットワーク活動推進事業

高齢者・障害（児）者・子育て中の親子などが地域で安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支えあい活動を小地域で行う体制を構築することを目的とし、校区福祉委員会を中心に展開した。令和2年度は新型コロナウイルスの影響で、当初計画していた、活動を支える担い手の養成や研修、相互交流等を中止した。

(1) 校区福祉委員会協議会

①役員会開催状況

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
6/18	ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局体制について ・令和2年度住民会員募集について ・令和元年度校区福祉委員会協議会事業報告について ・令和元年度校区福祉委員会協議会関係決算報告について ・各種委員の推薦について ・第6次枚方市地域福祉活動計画について ・校区福祉委員会活動の手引きについて ・校区福祉委員会協議会年間予定について ・地域福祉活動の再開について ・いきいき・わくわくプログラム（関西医大実習）について 	8
8/21	ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度赤い羽根共同募金運動について ・令和元年度校区福祉委員会協議会事業報告等書面審議の結果について ・各種委員の推薦について ・校区福祉委員会協議会年間予定について ・第4次校区ふくしのまちづくり計画の策定について ・いきいき・わくわくプログラム（関西医大実習）について ・見守り支援事業「あんしんコール」・「ふれあいポスティング」について ・校区福祉委員会活動の手引きについて 	8
12/1	ラポールひらかた 研修室1	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度枚方市成人祭「はたちのつどい」の来賓について ・住民会員募集の中間報告について ・令和3年度共同募金配分金事業 事業計画案について ・献血事業について ・こども福祉新聞について ・第4次校区ふくしのまちづくり計画について 	6
3/12	ラポールひらかた 特別会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度社協住民会員募集について（報告） ・令和2年度歳末たすけあい募金について（報告） ・令和3年度校区福祉委員会協議会事業計画（案）について ・令和3年度校区福祉委員会協議会予算（案）について ・ひとり暮らし老人会運営助成金に関する書類の提出について ・校区献血について ・いきいき・わくわくプログラム（関西医大実習）について ・関西看護専門学校の実習について ・校区福祉委員会活動に関する書類の提出について 	8

		<ul style="list-style-type: none"> ・第4次校区ふくしのまちづくり計画について ・こども福祉新聞について ・各種委員の推薦について 	
--	--	---	--

②代表者会議開催状況

月 日	場 所	内 容	出席数
8/28	ラポールひらかた 大研修室	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度赤い羽根共同募金運動について ・令和元年度校区福祉委員会協議会事業報告等書面審議の結果について ・各種委員の推薦について ・校区福祉委員会協議会年間予定について ・第4次校区ふくしのまちづくり計画の策定について ・いきいき・わくわくプログラム（関西医大実習）について ・見守り支援事業「あんしんコール」・「ふれあいポスティング」について ・校区福祉委員会活動の手引きについて 	42
		<ul style="list-style-type: none"> ・第6次枚方市地域福祉計画の策定について ・今後の予定確認（各エリアごと） 	
3/12	ラポールひらかた 大研修室	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度社協住民会員募集について（報告） ・令和2年度歳末たすけあい募金について（報告） ・令和3年度共同募金配分金事業 事業計画（案）について ・令和3年度校区福祉委員会協議会事業計画（案）について ・令和3年度校区福祉委員会協議会予算（案）について ・各種委員の推薦について ・ひとり暮らし老人会運営助成金に関する書類の提出について ・校区献血について ・いきいき・わくわくプログラム（関西医大実習）について ・関西看護専門学校の実習について ・校区福祉委員会活動に関する書類の提出について ・第4次校区ふくしのまちづくり計画について ・こども福祉新聞について 	40

③各エリア会議開催状況

ア) 北エリア会議

新型コロナウイルス感染拡大のため、エリア会議は中止とし、各校区における地域福祉活動の実施状況や意見を共有することを目的に、9月にアンケートを実施した。

テーマ『地域福祉活動の実施状況に関するアンケート調査』

回答 12校区（北エリア全校区）

イ) 中エリア会議

新型コロナウイルス感染拡大のため、エリア会議は中止とした。

ウ) 南エリア会議

新型コロナウイルス感染拡大のため、エリア会議は中止とした。

エ) 東エリア会議

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
10/9	津田生涯学習 市民センター	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度 事業計画について ・各校区の活動の情報共有、意見交換 	19

		・令和2年度 第2回エリア会議について	
3/1	菅原生涯学習市民センター	・令和2年度 事業報告について ・外部講師による研修 講師 (福) 門真市社会福祉協議会 小松 智誠 氏 テーマ 「地域と社協、施設、行政が共に楽しみながら活動に取り組むには」	22

(2) 研修会開催状況

開催予定であった、校区福祉委員会活動者研修会、校区福祉委員会会長研修会、いきいきサロン健康づくりサポーター養成講座は、新型コロナウイルス感染拡大のため中止した。小地域ネットワーク活動リーダー研修会のみ、録画配信という形式で開催した。

小地域ネットワーク活動リーダー研修会 主催：大阪府社会福祉協議会 (単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
3/9 ・ 3/23	ラポールひらかた大研修室	【基調講演】 「コロナ禍での新たな生活様式を取り入れた地域福祉活動について」 講師：同志社大学 社会学部 教授 永田 祐 氏 【実践報告】 報告者： 寝屋川市「コロナ禍でもできる心の“健幸”づくりの秘訣」～向こう3軒両隣をめざして～ 太子町「コロナ禍での健康状態の低下を防ぐ取り組み」 泉佐野市「コロナ禍でのニーズキャッチやICTツールの活用」	57 (1日目) 34 (2日目)

(3) 小地域ネットワーク活動推進事業

①各校区の地域福祉活動の推進

市内全44校区福祉委員会が、新型コロナウイルス感染拡大防止の配慮を行った上、可能な範囲で各校区の地域特性に応じ、住民主体で取り組む小地域ネットワーク活動を行った。

1) 個別援助活動

- ・地域で支援を必要とする人に対する見守り・声かけ訪問
- ・外出することが困難な人へ食事を提供するとともに、安否確認などを行う配食活動
- ・外出自粛高齢者・障害者等見守り支援事業として、「あんしんコール」・「ふれあいポスティング」の実施

2) グループ援助活動

- ・高齢者等を対象に、住民の憩いの場づくりとしてのいきいきサロン活動
- ・子育て中の親子が集まり、親同士の交流等を行う子育てサロン活動
- ・住民全般を対象とした世代間交流活動
- ・高齢者や障害者、性別、年齢などに関係なく地域の誰もが集える共生型サロン活動

3) 校区福祉委員会等活動

- ・福祉講座やボランティアスクール等、地域住民に対する福祉啓発活動
- ・担い手の養成等を目的とした各種研修会の開催

(4) 関西医科大学との連携

関西医科大学看護学部看護学科からの実習協力要請に応え、今年度も「生活看護論実習Ⅰ」の履修

者100人（1年生）を5人単位20グループに分け、各校区福祉委員会の協力を得て、地域での実習受け入れを行った。

【受け入れ日数】延べ266日間

【受け入れ期間】10月～12月

(5) その他の活動

- ・社協住民会員募集への協力（9月）
- ・歳末たすけあい募金運動への協力（12月）

6. ボランティア活動推進事業

市民が身近なボランティア活動に参加しやすい環境を整えるため、ボランティア体験プログラムや各種講座、イベント等を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で多くの事業を中止した。登録ボランティアやグループでも活動に大きく制限を受けざるを得なかったが、各グループがそれぞれ工夫しながら途切れることなく続けられるよう支援した。そのような中、コロナ禍への対応として登録ボランティアを対象としたリモートアプリの講習会やリモート型防災アトラクションを開催した。

(1) 枚方市ボランティアセンター事業

①ボランティアセンター開所状況

(単位：日)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
日数	21	18	22	21	20	20	22	19	20	19	18	23	243

②ボランティアセンター利用状況

(延べ件数)

(延べ件数)

利用者(個人・団体)	件数
現任ボランティア・グループ	458
学生	12
一般市民(シニア等)	178
地域 (福祉委員会・民生委員・自治会等)	78
学校・教育関係	27
福祉施設・医療関係	27
行政・他市社協	132
その他団体	125
計	1,037

利用方法	件数
来所	683
電話	354
計	1,037

③利用内容

(延べ件数)

内容	件数
ボランティア活動相談	55
ボランティア依頼相談	123
各種情報提供	622
ボランティア保険受付	178
交流	29
サロン・講座	30
計	1,037

7. 献血推進事業

少子高齢社会が進行するなか、血液製剤の国内自給を目指して、献血人口の拡大と400ml献血の献血者を安定的に確保するべく事業を実施している。しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により十分な活動を行うことが困難となったが、可能な範囲で活動を実施した。また、枚方市駅献血

ルームの啓発活動として、関係機関・団体等の協力により、市内全域にポスターを掲示し、献血推進に努めた。

(1) 事業内容

①献血推進協議会開催状況

(単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
10/15	ラポールひらかた 研修室 1	・役員の選出について ・令和元年度枚方市献血推進協議会事業報告及び令和2年度事業計画について	18
		・令和元年度枚方市駅献血ルームの献血実績及び令和2年度事業計画について ・枚方市冬期献血街頭キャンペーンについて	

②研修会開催

10月15日 テーマ：「血液事業の現状と課題」

講 師：大阪府赤十字血液センター北大阪事業所

事業課係長 大藪 達 氏

参加者：献血推進協議会委員18人

③街頭キャンペーン実施状況

京阪枚方市駅前献血ルーム周辺で、献血推進協議会委員が、ティッシュペーパーを配布しながら献血協力と呼びかけるなどの啓発を行った。

(単位：人)

	実 施 日	場 所	啓発参加者数	受付者数	採血者数
冬期	12月14日	枚方市駅前(ルーム前)	15	72	62

【実施時間】

枚方市駅前(ルーム前)：午前10時～10時40分 午前11時00分～午前11時40分

④校区福祉委員会との連携

校区福祉委員会と連携し、15校区において献血を実施した。広報活動として、PR用チラシの配布(全戸配布用・回覧用)とポスターの掲示を行った。

枚方市駅献血ルームの冬期啓発ポスター掲示の協力を呼びかけ、献血推進の啓発に努めた。

⑤関係機関・団体等との連携

関係機関・団体等との連絡調整を図り、組織的・効果的な献血推進活動を展開した。

(2) 枚方市献血実績

(単位：人)

実施区分 (域)	受付者数	採血者数	採血者内訳			主催団体 実施場所等
			200ml	400ml	成分	
街 頭	3,215	2,759 85.8%	113 4.1%	2,646 95.9%	0 0.0%	枚方市駅前 樟葉駅前
学 域	93	93 100.0%	28 30.1%	65 69.9%	0 0.0%	大学・専門学校等
職 域	1,228	1,106 90.1%	64 5.8%	1,042 94.2%	0 0.0%	事業所・病院 市役所等
地 域	457	370 81.0%	38 10.3%	332 89.7%	0 0.0%	校区福祉委員会等
献血者計 (小計)	4,993	4,328 86.7%	243 5.6%	4,085 94.4%	0 0.0%	街頭～地域 の合計

献血ルーム	19,128	17,508 91.5%	298 1.7%	6,591 37.6%	10,619 60.7%	枚方市駅献血ルーム
総合計	24,121	21,836 90.5%	541 2.5%	10,676 48.9%	10,619 48.6%	採血車・献血ルーム の合計

(採血者数下の%は、受付者数に対する割合。採血者内訳下の%は、採血者数に対する構成比。)

8. コミュニティソーシャルワーカー配置事業

市内全域にコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置し、身近な地域の福祉相談員として、「どこに相談したらいいかわからない」などの福祉に関する困りごとを抱えた住民への個別支援と、個別の福祉課題を地域の課題として捉える「福祉のまちづくり」の推進に取り組んだ。具体的には、事業計画に則り「1. セーフティネットの構築と強化」「2. 総合相談による住民の福祉向上と自立生活の支援」「3. 地域福祉活動のコーディネート、企画・立案機能の強化」「4. 地域福祉における計画的推進への支援」を実施項目の4つの柱として取り組んだ。

特に、住民が身近に相談できるように、訪問相談や出張相談会の充実などアウトリーチを強化した。

アウトリーチでは個別相談の対応だけでなく、民生委員児童委員協議会の地区委員会、校区福祉委員会が開催するサロン、市が実施する「介護予防・日常生活支援総合事業」の一環である第2層協議体の「元気づくり・地域づくり会議」にも参加し、活動者からの相談に応じるなど地域支援を行った。

(1) 要援護者に対する相談・セーフティネット体制

要援護者の生活・心身の状況及び家族等の実態を把握し、地域団体・専門機関とともに、見守りやサービス等の調整、複合する課題を抱えた人や公的サービスだけでは対応できない人への支援体制づくりに向けて取り組んだ。

①年間相談件数

【相談対象者別】	件数	延べ件数
高齢者	174	690
（うち）1人暮らし高齢者	101	418
（うち）高齢者のみの世帯	30	66
（うち）上記以外の高齢者	43	206
障害者	108	1047
（うち）身体障害者	24	220
（うち）知的障害者	15	126
（うち）精神障害者	69	701
（うち）上記以外の障害者	0	0
子育て中の親子	14	101
ひとり親家庭の親子	12	91
青少年（39歳以下）	35	263
DV被害者	6	11
ホームレス	1	3
外国人（中国帰国者を含む）	2	9
中高年、40歳以上	137	1,625
地域活動者・住民	160	522

その他(上記以外)	30	65
合 計	679	4,427

【相談内容別】 ※重複該当を含む	件数	延べ件数
福祉制度・サービスに関する相談	196	1,420
生活に関する身近な相談	213	1,527
健康・医療に関する相談	98	982
生活費に関する相談	187	1,370
就労に関する相談	30	315
財産管理・権利擁護に関する相談	37	306
消費者被害に関する相談	4	10
多重債務に関する相談	13	100
DV・虐待に関する相談	19	82
地域福祉・ボランティア活動に関する相談	208	627
住宅に関する相談	53	450
子育て・子どもの教育に関する相談	9	90
近隣トラブル	35	247
ひきこもり・社会的孤立	31	244
人権・差別	2	12
その他(上記以外)	21	83
合 計	1,156	7,865

②ケース検討会等の随時開催

③身近な所で相談できる出張相談会（市内20か所）の開催

[定例相談会] 校区福祉委員会等が開催するサロンや拠点施設で定例の相談コーナーを開設。
中部5か所/北部5か所/南部6か所/東部4か所

(2) CSW事業の推進体制

関係機関・団体等の会議に参加、連携を図り、事業推進のための体制づくりを行った。

- ①CSW配置事業定例会(枚方市・枚方市社会福祉協議会・枚方人権まちづくり協会)の開催(12回)
- ②CSW事例検討会の開催(4回)
- ③社会福祉施設地域貢献連絡会との連携
- ④元気づくり・地域づくり会議、多職種連携会議・研修会への参加
- ⑤介護予防日常生活支援総合事業への参加・参画
- ⑥枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議への参加
- ⑦枚方市自立相談支援センター支援調整会議への参加
- ⑧ファミリーポートひらかた地域連絡会への参加
- ⑨府・市関係各課及び地域の関係機関・団体等との連携
- ⑩くずは地域懇談会への参画

(3) 広報・啓発活動

- ①社協だよりにPR記事掲載(6月、12月、3月)
- ②各校区福祉委員会発行の広報紙にCSWの啓発記事を掲載

③啓発資料の作成と配布	活動事例集	1,000部
	パンフレット	6,000枚
	啓発ティッシュ	5,000個

9. 福祉サービス利用援助事業

昨年度に引き続き利用希望者（関係機関を含む）からの相談、問い合わせは多かった。しかし、生活支援員の入れ替えなどによりケース数の増加には繋がらなかった。判断能力の低下が進んだ利用者は成年後見制度への移行を積極的に進めた。

(1) 事業概要

①目的

認知症、知的障害、精神障害などにより、判断能力が十分でない人に対し、自立した地域生活を送れるよう福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理などを行うことにより、権利擁護に資することを目的とする。

②実施事業

- (ア) 福祉サービスの利用援助（情報提供、相談、代行・代理等）
- (イ) 日常的金銭管理（日常管理通帳・印鑑の管理、公共料金等の支払い代行等）
- (ウ) 書類等の預かり（印鑑、各種証書等を貸金庫に保管）
- (エ) 監査委員会の運営（年2回開催）
- (オ) 関係機関との連携

③職員体制

専門員4人

生活支援員（サポーター）7人（うち5人は週5日 7時間45分、2人は4日 5時間）

(2) 実績

①サービス提供状況（契約件数133件 ※昨年度末126件）（単位：件）

	福祉サービス利用援助・金銭管理	福祉サービス利用援助・金銭管理 ・書類預かり 【貸金庫利用者】	計	内訳	
				新規	解約
認知症高齢者	36	4	40	9	8
知的障害者	30	13	43	6	3
精神障害者	29	21	50	4	1
計	95	38	133	19	12

※解約理由：死亡4件/成年後見4件/本人希望3件/施設入所1件/

②専門員稼働状況

（単位：件）

専門員	問い合わせ	初回相談	訪問
		40	24

※訪問（初期訪問、ガイドライン調査、相談援助訪問等）

（単位：件）

生活支援員	訪問			手続代行等
	金銭授受	身上監護	計	
	2,727	225	2,952	

10. 精神保健福祉推進事業

心に悩みのある人への電話相談や当事者組織等への活動支援、自殺予防・防止に向けた市民啓発の推進と各種情報提供を行った。

(1) 精神保健福祉推進事業

①セルフヘルプグループの活動支援

精神障害者クラブ「ひらりの会」、心に病をもつ者の家族の会「わかちあう会」、自死遺族わかちあいのつどい「ふきのとうの会」、「枚方断酒会」の活動の支援を行った。

②こころの電話相談の支援

実施日時：毎日（1月1日・2日を除く）午前10時～午後4時

相談員：研修を経た相談員 約60人 交代制

実施日数：316日

相談件数：2,659件（内訳：男性1,050人・女性1,609人）

※新型コロナウイルス感染拡大のため実施回数減。

(2) 枚方市自殺予防対策事業

自殺予防に係る専用相談電話の設置や自殺予防の役割を担う人材の養成、市民への情報提供と啓発を推進することにより、自殺を思い悩む人への支援体制の充実を図った。

①電話相談支援事業（ひらかた いのちのホットライン）

自殺予防に係る専門の研修を修了した者が、専用の電話相談「ひらかた いのちのホットライン」において、不安や悩みを抱え自殺を思い悩む相談者の思いを傾聴し、受け止めることにより、その苦悩を軽減することを目的に電話相談を行った。

・実施日時 毎週月・水・金曜日 午後1時～午後8時（1月1日、2日を除く）

・相談従事者 枚方市が実施する相談従事者育成のための研修を修了した者

・実施日数 136日・相談件数 701件

②人材養成事業

電話相談支援事業に従事する相談員の養成および、自殺を考えている人のサインに気づき、見守りを行い、専門相談機関による相談へとつなげる役割を担うゲートキーパーを養成するための研修を実施。

(ア) フォローアップ研修

電話相談員のスキルアップを図り、相談事業の充実を目的に傾聴の研修を行った。

・ケース・スタディ研修 24回 180人

・リーダー研修 7回 28人

・テープを聴く会 4回 32人

・特別研修会 中止

(イ) ゲートキーパー養成研修

自殺のサインに気づき、見守りや必要に応じて適切な専門相談機関へつなぐ役割を担う人材を養成することを目的に「自殺防止ゲートキーパー養成研修」を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止。

③普及啓発事業

啓発キャンペーンの実施や自殺予防をテーマとした講演会の開催、各種相談窓口記載のリーフレットの配布など、広く市民への情報提供と啓発。

(ア) 啓発イベントの実施

自殺予防対策週間や自殺対策強化月間において、啓発キャンペーンを実施した。

1回目 日 時 令和2年9月7日（月）～9月20日（日）

内 容 デジタルサイネージを使っての啓発活動

場 所 京阪電車 枚方市駅構内

2回目 日 時 令和3年3月1日（月）～3月28日（日）

内 容 デジタルサイネージを使っての啓発活動

場 所 京阪電車 枚方市駅構内

(イ) リーフレットの配布等の情報提供

各種相談窓口を記載したリーフレットを、新しく2万部作成し、関係機関・団体や市民に配布することにより、広く市民への情報提供と啓発を行った。

1 1. 生活福祉資金貸付事業

低所得者、障害者または高齢者の世帯に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立および生活意欲の助長、ならびに在宅福祉および社会参加の促進を図ることを目的として生活福祉資金貸付事業を実施した。

例年、主たる相談は教育資金や生活必需品（エアコン・冷蔵庫等）の購入資金に関するもので占められていたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、収入減少や失業のため生活に困窮し、日常生活の維持が困難になっている世帯を対象とした、新型コロナウイルス感染症特例貸付が令和2年3月25日より申請開始となり、相談件数の大半を占めた。さらに感染拡大が継続し経済状況の悪化につながったため、令和2年7月27日からはコロナ特例総合支援資金延長貸付、令和3年2月19日からはコロナ特例総合支援資金再貸付の申請開始となり、相談申請件数が大幅に増加した。

(1) 生活福祉資金貸付

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	不承認
相談件数	65	54	83	83	73	45	123	167	116	68	127	148	1152	3
貸付件数	2	5	3	3	2	2	1	4	3	0	1	1	27	

(単位：件/円)

区 分	貸付件数	貸付決定金額
福祉費	27	6,525,000
緊急小口資金	5	400,000
教育支援資金	55	32,796,000
不動産担保型生活支援（一般世帯）	0	0
〃（要保護世帯）	1	4,674,000
合 計	88	44,395,000

(2) 総合支援資金貸付

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	不承認
面接待件数	5	10	13	12	9	0	0	0	0	0	0	0	49	0
貸付件数	3	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	7	

(3) 臨時特例つなぎ資金

(単位：円)

面接待件数	申請件数	貸付件数	不承認件数	貸付決定金額（総額）
0件	0件	0件	0件	0

(4) 新型コロナウイルス感染症 特例貸付（緊急小口資金・総合支援資金・延長・再貸付）

申請期間が延長されたことに伴い、年間通じてコロナ特例貸付の申請件数が多かった。感染拡大が継続し経済状況が悪化したため、相談者の職種や年齢層も多岐にわたり、複数回申請する方がほとんどであった。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特例小口	385	519	397	260	222	198	137	117	111	113	252	276	2,987

特例総合	47	218	367	288	235	257	174	99	141	81	161	397	2,465
総合延長				11	302	284	151	147	153	75	124	76	1,323
再貸付											309	756	1,065
小計	432	737	764	559	759	739	462	363	405	269	846	1505	7,840

12. 住宅改造助成事業調査事務事業

重度身体障害・重度知的障害のある人たちが、日常生活の自立や介護の負担軽減を図るため、心身の状況や家屋の構造などに合わせた住宅改造を行う場合に改造費用の一部を助成。

本事業推進のため、本会担当者と枚方市保健センターの作業療法士や理学療法士等によるリフォームチームが介護支援専門員と連携し、利用者のニーズに応じた効果的な住宅改造の提案や相談・助言を行った。また、今までは期間を限定した募集を行っていたが、令和2年度より通年募集とし、相談対応や訪問等を柔軟に行った。

(1) 重度障害者等住宅改造助成事業リフォームチーム開催状況 (単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
7/17	ラポールひらかた 施設長室	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度 住宅改造助成事業前期分実施状況報告について 令和2年度 住宅改造助成事業後期分の募集について 今後の事業の進め方について 住宅改造助成事業の委託契約について 	4

(2) 改造助成の相談状況及び改造箇所について

【相談件数】 (単位：件)

区 分	相談世帯	助成対象世帯	他制度を紹介
65歳以上	42	14	21
65歳未満	23	7	10
不 明	15	0	6
計	80	21	37

- ・不明は匿名相談のため、年齢の区分なし。
 - ・他制度を紹介は住宅改修費及び用具給付等、公的な融資制度などを指す。また、助成金対象世帯であっても着工済み・予算枠の空きがない等の理由も含む。
- (個別支援に係る訪問稼働数延べ 56回)

【改造箇所】 (単位：箇所)

区 分	便所	浴室	玄関・アプローチ	階段	廊下	台所	居室	洗面・脱衣所	その他	計
65歳以上	5	11	8	1	3	0	2	5	2	37
65歳未満	2	5	1	1	0	0	1	1	0	11
計	7	16	9	2	3	0	3	6	2	48

※改造箇所については重複集計。

【改造内容】 (合計：65歳以上／65歳未満 単位：件)

内 容	件 数	内 容	件 数
手すりの取付け	21件 (13／8)	段差解消	20件 (11／9)
床材変更・床上げ	9件 (4／5)	便器洋式化・改善等	3件 (1／2)

扉変更・改善等	5件（1／4）	シャワー設置・蛇口変更	5件（2／3）
浴槽改善等	12件（7／5）	段差解消機・昇降機設置	3件（2／1）

※改造内容については重複集計。

【アンケートの集計内容】

※ニーズを実現したケース 21件中21件

※利用者満足度 100% ※改造による効果 100%

1.3. 乳児家庭全戸訪問事業

市内に在住する生後4カ月までの乳児のいる家庭を対象に、有資格者または子育て支援活動の経験がある訪問員が全戸訪問し、子育てについての不安や悩みを聴き、子育て支援に関する情報提供等を行う。同時に、親子の心身の状況や養育環境等の把握を行い、支援が必要な家庭に対して適切なサービス提供につなげるなど、乳児の健全な育成環境の確保を図ることを目的に、乳児家庭全戸訪問事業を実施した。

(1) 訪問件数

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
出生者数	209	188	205	185	201	228	185	227	230	196	205	209	2,468
訪問家庭数	108	98	124	99	113	138	115	140	130	120	128	135	1,448

* 訪問家庭数は、新生児家庭訪問の実施世帯等を除いたものとなっています。

(2) 訪問員

- ・訪問員数 60人（令和3年3月31日現在）
- ・訪問員の要件 ①保育士等の有資格者 ②子育て支援活動の経験のある者
①または②の条件を満たした上で、確実にケースを担当できる者および年3回の研修に出席することができる者

(3) 訪問員研修会の開催状況

事業の目的を理解し、訪問員としての基礎的な知識の習得と資質の向上を図ることを目的に訪問員研修を実施した。本年度は、新型コロナウイルス感染拡大により「訪問員が情報共有するための課題」というテーマをメールによる回答という方法で実施した。

(単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
9月 実施	メールによる 課題提出	設問1 訪問活動への振り返り（印象に残った訪問） 設問2 緊急事態宣言を受けてからの訪問活動について （訪問員としてのあり方や工夫していたことなど）	60
11/4	ラポールひらかた 大研修室	1部 「第1回目 訪問員研修のまとめ」 ～ 学ぶこと・感じたこと ～ 講師 金澤 栄子 氏 2部 「冬期に流行する感染症と予防法について」 講師 枚方市保健センター職員（保健師）	46
1月 実施	メールによる 課題提出	設問1 訪問時のヒヤリハット 設問2 前回研修後に気付いたこと・心がけたこと	60

(4) 運営会議・ケース会議の開催

本事業に関わる関係各課（子育て支援室・子ども総合相談センター・保健センター）が参画し、事業に関する連絡調整及びケース対応検討を目的に毎月開催。

開催日： 4/16、5/19、6/11、7/14、8/18、9/15、10/13、11/17、12/14、1/21、2/18、3/16

(5) 相談員の設置

訪問時に作成する訪問個表の提出期間中等に、相談員として保育士資格者1人配置し、訪問員に助言や指導を行う。年間47日間実施。

14. 15. 地域包括支援センター事業（第1圏域・第2圏域）

本会は、市内の地域包括支援センター13か所の内、第1圏域（社協こもれび）と第2圏域（社協ふれあい）を担当し、介護予防・日常生活支援総合事業、介護予防支援事業に取り組んだ。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、各種事業や会議等の開催自粛や、中止などもあったが、一部開催できた会議等では感染予防策を徹底しながら取り組んだ。

介護予防・日常生活支援総合事業の一環としてスタートした元気づくり・地域づくりプロジェクトは、第1・2圏域5校区のうち、4校区で元気づくり・地域づくり会議が設置され、地域における高齢者の居場所づくり等、元気なうちから高齢者の居場所や役割、活躍の場をつくる取り組みが進んできている。

社協こもれびでは、圏域内の樟葉・樟葉南・樟葉北校区において2回ずつ校区地域ケア会議を開催予定としていたが、新型コロナウイルス感染拡大による開催自粛のため1回のみとなった。

社協ふれあいでは、医療・福祉の各専門職による「多職種連携研究会」を開催することができ、コロナの渦中でも関係機関の連携を深めることができた。また、第3層生活支援コーディネーター研修も開催した。

地域における介護予防事業として、社協こもれびでは、事務所併設の会議室にて、独自の介護予防事業である「こもれび教室」を実施し、社協ふれあいでは、牧野小学校内の牧野アスティにてひらっぴー倶楽部を開催した。

(1) 介護予防プラン作成

第1圏域（社協こもれび）

（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
包括	83	84	87	87	63	113	89	92	91	86	90	90	1,055
委託	171	184	185	184	130	229	190	196	188	185	185	188	2,215
月計	254	268	272	271	193	342	279	288	279	271	275	278	3,270

第2圏域（社協ふれあい）

（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
包括	112	123	122	109	105	102	103	108	103	101	102	101	1,291
委託	181	188	190	202	208	212	217	216	217	216	219	226	2,492
月計	293	311	312	311	313	314	320	324	320	317	321	327	3,783

(2) 総合相談

第1圏域（社協こもれび）

（単位：件）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
電話	58	53	99	82	92	99	85	71	67	91	94	110	1001
来所	25	23	35	32	38	32	47	39	23	17	35	43	389
訪問	6	7	15	10	15	18	16	11	16	10	16	16	156
その他			1				2	1	1		2	1	8
月計	89	83	150	124	145	149	150	101	107	118	147	113	1,554

*新規・継続を含めた件数

第2圏域（社協ふれあい）

（単位：件）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
電話	139	121	168	188	123	158	190	145	151	176	159	180	1,898
来所	28	35	38	38	16	31	41	50	26	38	21	37	399
訪問	18	23	34	24	19	16	31	28	40	23	26	26	308

その他	0	0	7	2	0	0	4	1	3	1	1	0	19
月計	185	179	247	252	158	205	266	224	220	238	207	243	2,624

*新規・継続を含めた件数。

(3) 各種事業の実施

①介護予防普及啓発事業（高齢者元気はつらつ健康づくり事業）

第1圏域（社協こもれび）

新型コロナウイルスによる開催自粛のため、令和2年度は開催なし。

第2圏域（社協ふれあい）

新型コロナウイルスによる開催自粛のため、令和2年度は開催なし。

②地域ケア会議・事業所懇談会等

第1圏域（社協こもれび）

(単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
6/18	野田公民館	民生委員と居宅介護支援事業所懇談会（樟葉校区）	26
6/23	朝日・美咲自治会集会所	民生委員と居宅介護支援事業所懇談会（樟葉南校区）	26
6/23	朝日・美咲自治会集会所	居宅介護支援事業所懇談会	12
7/13	楠葉生涯学習市民センター	民生員と居宅介護支援事業所懇談会（樟葉北校区）	23
7/17	社協こもれび会議室	通所介護事業所懇談会	9
7/20	社協こもれび会議室	第1圏域居場所部会	12
7/27	社協こもれび会議室	訪問介護事業所懇談会	10
7/29	楠葉生涯学習市民センター	第1圏域元気づくり地域づくり会議	28
8/4	社協こもれび会議室	多職種連携事務局会議	11
8/20	社協こもれび会議室	自立支援型地域ケア会議	13
10/15	社協こもれび会議室	自立支援型地域ケア会議	11
10/23	楠葉生涯学習市民センター	第1圏域介護保険事業所合同研修会	36
12/4	朝日・美咲自治会集会所	第1圏域元気づくり地域づくり会議	27
12/17	社協こもれび会議室	自立支援型地域ケア会議	6
3/19	楠葉生涯学習市民センター	第1圏域元気づくり地域づくり会議	23

第2圏域（社協ふれあい）

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
6/20	くずは並木自治会館	樟葉西校区民生委員懇談会	13
6/23	楠葉生涯学習市民センター	第1回事業所懇談会	13
7/25	牧野生涯学習市民センター	牧野校区民生委員懇談会	25
7/28	牧野アスティ	第2回事業所懇談会	17
7/31	楠葉生涯学習市民センター	第1回樟葉西校区元気づくり・地域づくり会議	18
8/20	牧野生涯学習市民センター	自立支援型地域ケア会議	13
9/9	牧野アスティ	第1回牧野地域ケア会議	17
9/9	牧野アスティ	多職種連携研究会事務局会議	7
10/15	牧野生涯学習市民センター	自立支援型地域ケア会議	10
10/23	楠葉生涯学習市民センター	第3層生活支援コーディネータ研修	9
11/13	楠葉生涯学習市民センター	多職種連携研究会	35
11/24	牧野生涯学習市民センター	第3回事業所懇談会	13
12/17	楠葉生涯学習市民センター	自立支援型地域ケア会議	8

③地域介護予防活動支援（出前教室、認知症サポーター講座など）

第1圏域（社協こもれび）

月 日	場 所	内 容	回数・出席数
	朝日美咲自治会集会所	あさみカフェ 出張相談会 6/12 7/10 11/13	3回
	北船橋町集会所	北船橋町喫茶つどい 出張相談会 6/27 7/25 10/24 3/27	4回
	中楠葉集会所	中楠葉ふれあいカフェ 出張相談 6/24 7/22 9/23 11/25 3/24	5回
	朝日美咲自治会集会所	あさみ歌のつどい 出前講座 7/8 11/11 3/10	3回
	朝日美咲自治会集会所	樟葉南校区いきいきサロン 出前講座 7/28 9/29	2回
	じゅんさん家	出張相談 4/3 6/5 7/3 11/6 12/4	5回
	楠葉野田公民館	公民館カフェ 10/28 11/9 3/8 3/22	4回
	くずは北デイサービス	ふれあいカフェのぼりいけ 出張相談会 11/12	1回

○独自介護予防活動 こもれび教室・こもれびサークル (単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
7/9	社協こもれび会議室	こもれび教室 「お腹と健康と腸内細菌」	1 1
9/10	社協こもれび会議室	こもれび教室 「いすヨガ」	1 6
10/22	社協こもれび会議室	こもれび教室 「老人ホーム・高齢者向け住宅の選び方」	2 2
11/12	社協こもれび会議室	こもれび教室 「樟葉の歴史と街の変化」	1 6
3/25	社協こもれび会議室	こもれび教室 「認知症サポーター養成講座」	1 5
6～3月	社協こもれび会議室	毎週火曜日（くらわんか体操 自主グループ）	2 4回
7～3月	社協こもれび会議室	毎週水曜日（くらわんか体操 自主グループ）	2 7回

第2圏域（社協ふれあい）

(単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
6/23	くずは並木自治会館	おしゃべり広場『ホッと くず西』 出張相談	2 0
7/28	くずは並木自治会館	サロンくず西 出張相談	2 0
8/25	くずは並木自治会館	おしゃべり広場『ホッと くず西』 出張相談	2 2
10/25	牧野北団地集会所	ひまわり喫茶 出張相談	3 0
10/27	くずは並木自治会館	おしゃべり広場『ホッと くず西』 出張相談	2 9
11/8	牧野北団地集会所	ひまわり喫茶 出張相談	4 5
11/19	養父西集会所	養父西高壮年クラブ 出前講座	2 1
11/24	楠葉生涯学習市民センター	樟葉西校区お楽しみ会（敬老の日） 出張相談	4 0
3/23	牧野生涯学習市民センター	牧野健康長寿セミナー 全体会議	1 1

独自介護予防活動 ひらっぴー倶楽部

(単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
9/24	牧野アスティ	ひらっぴー倶楽部 第1回「コロナを怖がらない身体づくり」	1 3
10/22	牧野アスティ	ひらっぴー倶楽部 第2回「栄養と口腔について」	1 2

11/26	牧野アスティ	ひらっぴー倶楽部 第3回「フレイル進行を予防するために」	10
-------	--------	------------------------------	----

社協ふれあい事務所前にて、毎朝9時からひらかたくらわんか体操実施。(雨天中止)

④実習生の受け入れ

第1圏域(社協こもれび) 20人 第2圏域(社協ふれあい) 18人

(4) 地域密着型サービスの運営推進会議出席

第1圏域(社協こもれび) ※照会での開催を含む

グループホーム「はる」運営推進会議に出席(6回)

グループホーム「くずは丘」運営推進会議に出席(4回)

小規模特別養護老人ホーム「くずは美郷」の運営推進会議に出席(3回)

地域密着型通所介護「デイサロンあさひ」の運営推進会議に出席(1回)

地域密着型通所介護「ロンジェヴィテ125」の運営推進会議に出席(2回)

地域密着型通所介護「ミック健康の森くずは」の運営推進会議に出席(2回)

第2圏域(社協ふれあい)

小規模特別養護老人ホーム「くずは西美郷」の運営推進会議に出席3回(新型コロナウイルス感染拡大のため開催回数減)

他の地域密着型サービスの運営推進会議は、新型コロナウイルス感染拡大による開催自粛のため、文書照会での開催

(5) 地域包括支援センター関係者会議出席

市内13か所の地域包括支援センターの事業実施を円滑に推進するため、全体会議・保健師部会・社会福祉士部会・主任介護支援専門員部会が定例で開催され、新型コロナウイルス感染拡大のためオンライン会議の開催も含め担当者が出席した。

16. 居宅介護等事業

障害者総合支援法に基づく居宅介護事業、介護保険法による訪問介護事業を行った。事業全体の内、介護保険事業の割合は3.1%となっており昨年度より減少している。本会は利用者の意思及び人格の尊重とサービスの一層の充実を図るため、月2回のサービス提供責任者会議、ヘルパー業務の見直しや環境の整備等を検討する業務改善委員会、月2回のヘルパー会議、個別研修計画の作成等を行い、ヘルパーの意欲や質の向上に努めた。現任研修会は新型コロナウイルスの感染防止対策を十分に行いつつ2回実施したが、ヘルパー会議は可能な範囲で開催し、個別研修については開催を見合わせレポート提出とした。

事業者が連携し障害者総合支援法を推進する「枚方市障害福祉サービス事業者連絡会」の役員として利用者主体のサービスのあり方を確認するなど、中心的な役割を担った。

(1) 利用者(契約)状況

ホームヘルプ事業の新規契約者は5人(知的1人・精神4人)、契約解除者は7人(身体2人・知的3人・児童1人・介護保険1人)、介護保険への移行が1人であった。

新規契約者については、障害のある人単身での生活支援の希望、高齢の親と二人暮らしで自立に向けて利用される人、児童の生活支援などが挙げられ、3月現在の契約者は全体で92人となっており、年度当初より2人減少している。解約の理由は、死亡、介護保険への移行、施設入所、訪問看護への統合などである。

ヘルパー不足は変わらず、募集はしていたが雇用できず、契約終了者は2人となった。利用者の生活に応じた支援のためヘルプ時間は早朝夜間に集中し、人材の確保は継続的な課題であった。障害者の内訳は、知的障害者が44人(通院のみが必要な9人を含む)で最も多く、身体20人、精神18人、児童4人、難病1人となっている。

障害に起因する疾病等で入退院を繰り返すケースや、家族の高齢化等により通院介助が必要になったケース、一人暮らしとなって介護の必要性が増したケースが多くあった。本人の意向に添って、今

後も在宅生活が可能ないようにケース会議を開く等、他機関との連携を行った。

(単位：人)

月	障害者総合支援法					介護保険法	事業合計
	居宅介護					訪問介護	
	身体障害者	知的障害者	児童	精神障害者	難病		
4	24	46	5	14	1	4	94
5	24	46	5	14	1	4	94
6	24	46	5	15	1	4	95
7	24	46	5	15	1	4	95
8	23	44	5	15	1	5	93
9	22	44	5	15	1	5	92
10	22	44	5	16	1	5	93
11	22	44	5	16	1	5	93
12	22	45	5	18	1	5	96
1	22	45	5	18	1	5	96
2	22	44	5	18	1	4	94
3	21	44	4	18	1	4	92

※新規契約者は月末に解約者は月初にカウント

(2) 利用時間

ホームヘルプ事業の利用時間については、月平均 1,994 時間で、昨年度と比して約 46.4 時間の減となった。内訳は介護保険の利用時間が月 29.4 時間減となり、障害福祉サービスにおいて、身体介護月 40.9 時間の増、家事援助 27.3 時間の減、通院介護月 27.3 時間の減等となっている。新型コロナウイルス感染拡大で通院を控えた利用者が増えた結果である。

(単位：時間)

月	ホームヘルプ事業利用時間								合計
	障害者総合支援法居宅介護事業 (身体・知的・児童)			通院介護		介護保険訪問介護事業			
	家事援助	身体介護	重度訪問介護	身体介護		生活援助	身体	身体→生活	
				伴う	伴わない				
4	454.0	1,294.4	56.0	46.9	20.1	5.0	70.4	0	1,946.8
5	466.4	1,338.8	52.5	50.6	12.9	4.0	76.2	0	2,001.4
6	460.6	1,386.3	50.0	87.6	26.0	4.0	49.5	0	2,064.0
7	475.7	1,398.2	56.0	87.3	34.6	5.0	36.7	0	2,093.5
8	401.3	1,339.9	56.5	65.7	31.6	30.0	32.3	0	1,957.3
9	409.5	1,333.4	52.0	89.6	14.9	30.0	12.1	0	1,941.5
10	426.7	1,460.0	54.0	87.7	23.3	31.0	29.5	0	2,112.2
11	398.0	1,337.4	56.5	69.1	23.1	30.0	32.3	0	1,946.4
12	413.8	1,413.7	54.0	67.6	19.0	31.0	33.9	0	2,033.0
1	414.8	1,311.2	58.5	70.6	20.1	28.0	35.4	0	1,938.6
2	393.9	1,262.6	54.0	62.3	18.3	28.0	34.8	0	1,853.9
3	438.3	1,377.5	55.0	68.5	31.6	32.0	36.9	0	2,039.8
合計	5,153.0	16,253.4	655.0	853.0	275.0	258.0	480.0	0	23,927.4

月平均 利用時間	1,994.0 時間 (総合支援ホームヘルプ約 1,932.5 時間 介護保険ホームヘルプ約 61.5 時間)
-------------	--

(3) ホームヘルパー現任研修会

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
10/18	ラポールひらかた 大研修室	「地域で暮らす～支援者の立場から～」 社会福祉法人 ぼぼんがぼん 水野氏	30
3/21	ラポールひらかた 大研修室	内部研修 「障害者が地域で暮らすための支援とは」	26
5/17 5/19		個別研修 「調 理」	中止
7/19 7/21		個別研修 「ヘルパーのあり方について」	中止
11/15 11/17		個別研修 「利用者の理解について」	中止
1/17 1/19		個別研修 「実 技」	中止

17. 移動支援事業

障害者総合支援法に基づく市町村事業である地域生活支援事業の移動支援事業(ガイドヘルプ事業)として余暇活動、事業所及びショートステイ施設・入所施設への送迎等のサービスを行った。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、依頼の変更やキャンセルが相次いだ。工夫をしながら適切な派遣をおこなった。本事業は単なる余暇支援ではなく、利用者が地域で暮らすための生活支援の一端を担っているという観点から関係機関との連携を積極的に行い、必要に応じてサービス調整会議を開催したが、ガイドヘルパー現任研修会は中止した。

ガイドヘルパーの確保は社協ホームページや社協だよりに掲載すると共に募集チラシを設置したところ、9人が新たに登録した。しかし、課題となってる若年層と男性ガイドヘルパーは、確保に努めたものの、稼働人数は40人程度にとどまっている。

(1) 利用(契約)者状況

移動支援事業では、新規契約者は1人。契約者は3月末現在、311人で、今年度については月平均150人の利用にとどまった。解約者は3月末で3人。その内訳は、死亡3人となっている。本会への契約希望者は多く、移動支援の利用のニーズの高さが伺えるが、現状の利用者へのサービスの質及び量の確保のため、緊急の場合を除いて新たな契約者を制限している。今年度については3月末で8人が契約待機者となっており、これらの人を受け入れる努力を行ったが待機の解消には至らなかった。その他、精神障害のある人で知的障害との重複者については知的障害者に含めている。

(単位：人)

月	移 動 支 援 事 業				合 計
	身体障害者	知的障害者	児 童	精神障害者	
4	13	298	2	0	313
5	13	298	2	0	313
6	13	298	2	0	313
7	13	298	2	0	313
8	13	298	2	0	313
9	13	298	2	0	313
10	13	299	2	0	314
11	13	299	2	0	314
12	13	299	2	0	314
1	13	299	2	0	314
2	13	299	2	0	314
3	12	299	2	0	313

(新規契約者は月末に解約者は月初にカウント)

(2) 利用時間

市町村事業である移動支援事業は、他市のように1か月の区切りで時間が制限されるのではなく3か月で150時間というように利用時間を調整できるニーズに即した利用しやすい制度となっている。今年度は、新型コロナウイルス対応にかかる2度の緊急事態宣言が発生したため、3,000時間を下回る月が2回あった。そのため総利用時間は、41,708時間45分で月平均3,475.73時間。昨年度と比較して月平均約1271時間の減となった。新型コロナウイルスの発生に伴うキャンセルが発生し大きく数字を落としたが、昨年と同様利用者の家族の高齢化のため週末もガイドヘルプサービスを利用して過ごされる方・利用者本人の加齢に伴う支援の件数は減らなかった。そのため、新規利用者の受け入れを制限せざるを得ない状況等も続いている。本事業については、ニーズが多様化は継続しており、なくてはならない支援となっている。

(単位：時間)

移動支援事業						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
2,527	2,320.25	3445.75	3,948	3,934.25	3,957.25	4,171.75
11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均利用時間
4,081.75	3,354.25	3,146.75	3,050.25	3,771.5	41,708.75	3,475.73

(3) ガイドヘルパー現任研修会

月 日	場 所	内 容	出席数
1/22		テーマ：「障がい者の地域生活について」 講 師： ㈱あんゆう介護サービス 安田 雄太郎氏	中止

18. 地域活動支援センター（ゆい）事業

「地域支援センターゆい」は、障害のある人の地域生活を支援することを目的に、地域活動支援センターI型事業や障害者相談支援事業、日中一時支援事業等を実施した。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大により、地域活動支援センター事業の活動の一部を中止せざるを得なかったが、利用者やボランティアに対し手洗い、消毒、検温等できる対策を講じることで、サロンは通常どおり開催できた。また、利用者やボランティア等の交流、憩いの場としてのサロン活動を通じた相談も多かった。障害のある人もない人も共に楽しめる「わいわいウォークラリー」は一般市民の参加も増え、住民参加型の健康増進イベントとして開催した。

障害者相談支援事業では、来所、電話、訪問相談等、主に知的障害のある人の相談に対応した。基幹型相談支援センターとして虐待ケースや支援困難なケースについても枚方市や他機関と連携して支援を行った。日中一時支援事業では、学齢期の利用者や引きこもり等の支援が必要な人のニーズに対応した。

「枚方市自立支援協議会」に参画し、枚方市や様々な機関と連携、協力しながら、障害者施策についての検討や提案を行った

(1) 地域活動支援センター事業 I型

	基 礎 的 事 業			I 型 事 業		
	創作活動	生産活動	その他	医療・福祉及び地域との連携のための調整	地域住民・ボランティア育成	障害に対する理解促進を図るための普及活動
合計	202人	50人	3,267人	53回	85人	10回

(2) ジョイジョイサークル活動・当事者の集い

(単位：人)

事業名	開催月	参加者数	ボランティア数	内 容
ジョイジョイサークル (市内在住・就労の知的障害のある人を対象にレクリエーションを中心としたサークル活動)	6月	16	0	ミーティング
	7月	17	0	ミーティング
	8月	13	1	室内レクリエーション
	9月	15	0	ミーティング
	10月	16	3	外出活動(ひらかたパーク)
	11月	12	ウォークラリーでカウント	わいわいウォークラリー
合 計 (延べ人数)		89	4	

* 4、5月及び12月～1月については、コロナ感染予防の為、開催を中止した。

(3) 学習会

(単位：人)

開催日	開催テーマ	参加者人数	支援者等	合 計
3月21日	「いっぱい語ろう～みんなの気持ち」	31	19	50

(4) わいわいウォークラリー

(単位：人)

開催日	参加者人数	一般市民	支援者等	ボランティア	合 計
11月24日	51	17	33	9	110

(5) 日中一時支援事業

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
利用者数	5	4	9	4	5	4	6	3	4	5	1	2	52

(6) 障害者相談支援事業

(単位：人)

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒不安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援
合計	876	56	355	392	15	397
	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他
合計	144	617	63	204	72	41
	相談総のべ人数					3,232

19. 障害者活動支援事業

障害のある人が社会参加や交流する機会として、各種レクリエーション行事を実施し、障害のある人の自立と社会参加を図ることを目的に7月に実施予定としていた「ふれあいスポーツ交流会」は、開催当日に向けて準備を進めたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で実行委員会の開催が難しく、市と協議の結果、開催中止となった。

12月に実施予定であった「ジョイフルクリスマス会」では、例年より参加者定員を100人から50人に減らし、感染防止策を講じた上での実施に向けて準備を進めていたが、開催直前に新型コロナウイルスの感染者数が増加し、大阪モデルにおける感染警戒レベルがレッドステージ(非常事態)に移行したことに伴い、市と協議の結果、開催中止となった。

(単位：人)

事業名	開催予定日	参加者数	ボランティア数	内容
ふれあいスポーツ交流会	7/11 (中止)	—	—	レクリエーション行事 枚方市立総合体育館
ジョイフルクリスマス会	12/20 (中止)	参加予定 65	参加予定 5	レクリエーション行事 メセナひらかた

20. 共同生活援助事業

利用者が安心した生活を送ることができるよう、4か所のグループホーム「れいんぼう」「ひまわり」「憩い苑ホーム」「たんぼぼ」の運営を行った。

全体的に利用者が高齢化し、通院や入院が必要な利用者が増加していることで、通所事業所や高齢分野の介護支援専門員、介護事業所、病院等の医療機関と連携するなど、生活スタイルの変化に対応した。

運営を担う世話人の資質向上、育成を目的とした研修は、新型コロナウイルス感染拡大により見送った。運営の改善を図るため、利用者アンケートを実施し課題点を把握することで運営の改善を図った。世話人に対しても、自己点検アンケートを実施して一人ひとりの日常の仕事についての見直しを行い、支援の向上に努めた。

グループホーム世話人研修

(単位：回/人)

項目	回数	人数	内容	場所
世話人初任者研修	14	のべ 14	世話人の支援のあり方（現地実習）	各グループホーム
世話人内部研修	50	のべ 260	利用者の支援について個別支援計画等	各グループホーム
世話人内部研修	1	のべ 11	差別解消法について	ラポール研修室1

21. 成年後見等事業

日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）利用者のうち、契約時と比べて病状が進行し、判断能力がさらに低下した利用者を対象として、本会が成年後見人等となることにより、対象者の財産管理・身上監護を行う。

また、市民や関係機関を対象に、判断能力が低下してきた方の権利擁護について、各種相談を行った。（令和3年3月31日現在：受任件数 7件）

令和元年度より市民後見人養成事業の一部を受託し、養成講座への参加等を行った。

(1) 実施体制

法人後見担当者 1人 / 法人後見支援員 1人

(2) 相談件数と主な相談内容

- ・一般相談 12回（権利擁護全般、成年後見制度概要について）
- ・申立支援 0回（相談・訪問・フェイスシート作成等）

(3) 申立件数と受任件数

令和2年度申立内容

(単位：件)

内 訳	後見申立	保佐申立	補助申立
認知症高齢者等	0	0	0
知的障害者等	0	0	0
精神障害者等	0	0	0

(単位：件)

年 度	申立	(審理取り下げ)	受任	死亡
26年度	3	※1	1	0
27年度	3	0	4	1
28年度	1	0	1	1
29年度	2	0	2	0
30年度	3	0	2	2
令和1年度	0	0	1	0
令和2年度	0	0	0	0
計	12	※1	11	4

※審理中本人死亡のため

(4) 支援回数：459回（自宅・施設訪問、金銭の支払い業務、身上監護等）

(5) 研修・講演会

①法人後見事業研修会の開催

(単位：人)

月 日	場 所	内 容	出席数
3/10	ラポールひらかた 大研修室	テーマ：おひとりさまの終活講座 講師：ふじもと司法書士行政書士事務所 藤本 就子 氏	62

②説明会・研修会への出張

月 日	場 所	内 容
11/27	さくら事業所	テーマ：成年後見制度と日常生活自立支援事業

(6) 法人後見事業審査委員会

月 日	場 所	内 容	出席数
3/17	ラポールひらかた 集会室	被後見人の現状報告	5

(7) 市民後見人養成事業

令和元年度10月より市民後見人養成事業を受託し、今年度も市民後見人養成・バンク登録者への支援業務を行った。

①市民後見人養成講座への参加

月 日	場 所	内 容
7/27	大阪社会福祉指導センター	市民後見人養成講座 オリエンテーション
8/22	大阪社会福祉指導センター	市民後見人養成講座 基礎講座1日目
9/5	大阪社会福祉指導センター	市民後見人養成講座 基礎講座2日目
9/19	大阪社会福祉指導センター	市民後見人養成講座 基礎講座3日目
10/17	大阪社会福祉指導センター	市民後見人養成講座 基礎講座4日目
11/14	大阪社会福祉指導センター	市民後見人養成講座 実務講習1日目
12/12	大阪社会福祉指導センター	市民後見人養成講座 実務講習3日目

1/9	大阪社会福祉指導センター	市民後見人養成講座 実務講習 4日目
1/30	大阪社会福祉指導センター	市民後見人養成講座 実務講習 5日目
2/13	大阪社会福祉指導センター	市民後見人養成講座 実務講習 6日目
2/27	大阪社会福祉指導センター	市民後見人バンク登録者 面接

②市民後見人バンク登録者現任研修

月 日	場 所	内 容	出席数
9/28	ラポールひらかた 大研修室	テーマ：知的障害者の理解について 講 師：原田 かおる 氏	7人
3/18	ラポールひらかた 研修室2	テーマ：八尾市における市民後見人活動について 講 師：八尾市社会福祉協議会 八尾市市民後見人	9人

③市民後見人受任調整会議等

月 日	場 所	内 容
7/17	大阪府社会福祉協議会	受任調整会議
2/19	大阪府社会福祉協議会	受任調整会議
2/26	枚方市役所	市民後見人候補者との面接
3/2	枚方市役所	市民後見人候補者との面接

2.2. 総合福祉会館管理運営事業

障害者や高齢者などの生活支援に必要な情報やサービスの提供、各施設等の貸し出しなどを通じ、市民の福祉活動やボランティア活動等の支援を行った。

前年度末に発生した新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、休館及び施設利用中止措置を繰り返したが、再開後は利用者の理解と協力を得ながら利用制限による感染予防を講じて運営した。なお、温水プールは施設改修工事のため1月～3月を休業した。

(1) 開館日数 (単位：日)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日 数	18	12	29	30	30	29	30	29	27	27	27	30	317

※新型コロナウイルス感染拡大の為、
 令和2年 4月 1日～4月 19日 施設利用中止
 令和2年 4月 20日～5月 19日 休館
 令和2年 5月 20日～6月 14日 施設利用中止
 令和2年 12月 7日～令和3年 2月 28日 施設利用中止

(2) 部屋別利用状況

①有料室

(単位：件)

室 名	午 前	午 後	夜 間	合 計	利用率(%)
研修室1	1 1 7	1 3 3	5 4	3 0 4	2 9 . 2
研修室2	1 1 2	1 1 9	5 9	2 9 0	2 7 . 9
研修室3	9 3	1 0 4	7 2	2 6 9	2 5 . 8
研修室4	6 0	8 1	6 1	2 0 2	1 9 . 4
集会室	5 4	8 2	3 7	1 7 3	1 6 . 6
和室	3 6	5 4	4	9 4	9 . 0

大研修室	1 1 3	1 3 3	2 2	2 6 8	2 5. 7
保育室	1 4	1 0	2	2 6	2. 5
作業室	4 7	5 0	3 9	1 3 6	1 3. 1
日常生活訓練室	2 6	2 3	1 0	5 9	5. 7
合 計	6 7 2	7 8 9	3 6 0	1, 8 2 1	1 7. 5

②無料室

(単位：件)

室 名	午 前	午 後	夜 間	合 計	利用率(%)
ミーティングルーム1	1 4 3	1 3 0	5 7	3 3 0	3 1. 7
ミーティングルーム2	1 4 1	1 3 9	5 6	3 3 6	3 2. 3
ミーティングルーム3	1 5 2	1 1 8	3 6	3 0 6	2 9. 4
福祉団体共用ルーム	1 0 5	1 2 4	3 8	2 6 7	2 5. 6
福祉情報制作室	6 3	3 3	0	9 6	9. 2
録音室	0	0	0	0	0. 0
合 計	6 0 4	5 4 4	1 8 7	1, 3 3 5	2 1. 4

③施設見学受入状況

(単位：件・人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
件 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

④登録団体の状況

登録団体数	1 3 9 団体
-------	----------

(内訳) 障害者団体 7 1 団体、ボランティア団体 6 1 団体
 その他団体 7 団体 (法人団体等)

⑤温水プール事業

感染拡大予防措置のため休業をしたが、再開後は時短営業及び利用制限を設けて運営した。

令和2年4月1日～6月30日 休業
 7月1日～7月31日 時間短縮営業 (午前10時～午後6時)
 12月7日～12月31日 休業
 令和3年1月4日～3月31日 施設改修工事のため休業

(ア) 開館日数

(単位：日)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
日 数	0	0	0	26	26	24	26	25	5	0	0	0	132

(イ) 利用者の状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
15歳～64歳	0	0	0	608	1,129	816	634	545	81	0	0	0	3,813
4歳～14歳	0	0	0	243	568	259	162	128	21	0	0	0	1,381
65歳以上の方	0	0	0	573	706	685	733	668	115	0	0	0	3,480
障 害 者	0	0	0	844	1,034	961	1,138	1,095	194	0	0	0	5,266
合 計	0	0	0	2,268	3,437	2,721	2,667	2,436	411	0	0	0	13,940

(ウ) 利用者別利用率

(単位：人・%)

	15歳～64歳	4歳～14歳	65歳以上の方	障害者	合計
人数(人)	3,813	1,381	3,480	5,266	13,940
利用率(%)	27.3	9.9	25.0	37.8	100

(エ) 水泳教室開催状況

(単位：回/人)

教室	開催日程	開催回数	参加者延べ人数
障害者水泳教室	5月13日～6月24日	7	新型コロナウイルス感染 予防の為に中止
	9月2日～10月14日	7	
	1月13日～2月24日	7	
障害児親子水泳教室 (幼児)	5月8日～6月19日	7	新型コロナウイルス感染 予防の為に中止
	9月4日～10月16日	7	
	1月8日～2月19日	7	
障害児(者)親子水泳教室 (小・中・高校生相当)	5月9日～6月20日	7	新型コロナウイルス感染 予防の為に中止
	9月5日～10月17日	7	
	1月9日～2月20日	7	
小学校低学年水泳教室 (障害児の部)	5月13日～6月24日	7	新型コロナウイルス感染 予防の為に中止
	9月2日～10月14日	7	
	1月13日～2月24日	7	
小学校高学年水泳教室 (障害児の部)	5月8日～6月19日	7	新型コロナウイルス感染 予防の為に中止
	9月4日～10月16日	7	
	1月8日～2月19日	7	
水泳教室 (障害者の部)	5月13日～6月24日	7	新型コロナウイルス感染 予防の為に中止
	11月4日～12月16日	7	
	1月13日～2月24日	7	
水中運動教室(障害者の部)	9月2日～10月14日	7	新型コロナウイルスの為に中止
高齢者初級水泳教室	5月13日～6月24日	7	新型コロナウイルス感染 予防の為に中止
	11月4日～12月16日	7	
	1月13日～2月24日	7	
一般初心者水泳教室	11月6日～12月18日	7	新型コロナウイルスの為に中止
中高齢者中級水泳教室	9月4日～10月16日	7	新型コロナウイルスの為に中止
	1月8日～2月19日	7	設備改修工事の為に中止
アクア ウォーキング教室	5月7日～6月18日	7	新型コロナウイルス感染 予防の為に中止
	9月3日～10月15日	7	
	11月5日～12月17日	7	
	1月7日～2月25日	7	
水中体操教室	5月7日～6月18日	7	新型コロナウイルス感染 予防の為に中止
	11月5日～12月17日	7	
	1月7日～2月25日	7	
水中トレーニング教室	9月2日～10月14日	7	新型コロナウイルスの為に中止
水中アクアビクス教室	5月7日～6月18日	7	新型コロナウイルス感染 予防の為に中止
	9月3日～10月15日	7	
	11月5日～12月17日	7	
	1月7日～2月25日	7	
チャレンジ水泳	8月5日・6日・7日	3	新型コロナウイルスの為に中止
	春 期	3	設備改修工事の為に中止
リフレッシュ講座	4月2日～4月23日	4	新型コロナウイルス感染 予防の為に中止
	7月2日～8月27日	7	
	残り 9回 休講	9	

スイミングセミナー	通 年	7	新型コロナウイルスの為中止
		3	設備改修工事の為中止
合 計		2 9 5	0

(3) 福祉図書コーナーの運営

福祉関係図書約4,650冊、ビデオ約800本、DVD約150本、その他関係資料を収蔵し、市民が自由に閲覧・視聴できる施設を整備している。

また、地域福祉情報の拠点として福祉情報の収集・整理を行い、適切に市民に提供できる環境づくりに努め、市民から寄せられる多岐にわたる福祉情報に関する相談・質問に応じる一方、手話・点字等ミニ体験の提案や、館内を利用して開催される行事のテーマにあわせた情報発信にも努めた。なお、令和2年4月1日～5月14日及び12月5日～2月28日は新型コロナウイルス感染拡大のため休室した。

*開所日時 月曜日～日曜日（第2日曜日、年末年始は休室） 午前9時～午後5時30分

*現在登録者数 1,400人（令和3年3月末日現在）

*啓発事業 おすすめ図書・映像資料の紹介（詳細は「各種事業の開催」に掲載）
ライブラリー通信の発行、施設見学受け入れ など

*利用状況

開所日数	来所者数
199日	2,100人

*収蔵図書等の利用状況

新規利用登録者数	書籍貸出数	ビデオ・DVD貸出数
25人	523冊	0本

*福祉情報相談

（単位：件）

窓口相談	電話相談	総数
31	6	37

(4) 車いす貸し出し状況

（単位：台・件）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
貸出件数(件)	5	0	4	2	1	6	9	9	3	3	5	0	47
貸出台数(台)	5	0	4	2	1	6	9	10	4	3	5	0	49

※車いす総保有台数 5台（自走車 3台、介助車 2台）

(5) 各種相談事業の開催

①会館相談

*相談日時：月曜日～金曜日 午前9時～午後5時30分 *開設日数：243日

*相談員（会館職員） *相談件数：36件

②ふくし相談

福祉に関するさまざまな問題や不安等の悩みについて、専門相談員が面接・電話相談に応じた。（新型コロナ感染予防による休止：4月1日～10月15日、12月5日～3月4日）

*相談日時：毎月第1・3・5日曜日 午後1時～4時 *開設日数：6日

*相談員 1人 *相談件数 2件

③心の健康相談

心の健康に関するさまざまな問題や不安など悩みについて、臨床心理士等が面接・電話相談に応じた。（新型コロナ感染予防による休止：4月1日～10月15日、12月5日～3月4日）

*相談日時：毎週金曜日 午後1時～4時 *開設日数：12日

*相談員：2人 *相談件数 2件

④父子家庭相談員設置事業

父子家庭が日常生活において直面する家事・育児・教育・経済な悩みについて傾聴し、共感

を示しながら必要な情報提供、社会資源の活用など適切な助言を行い、父子家庭の福祉の増進を図ることを目的に相談に応じた。

(単位：人/件)

相 談 内 容	相談員数	相談件数
・父子家庭での子育てについて ・生活問題、生活上の悩み、サービスの利用について など	8	3

⑤要介護老人家族の相談員設置事業

寝たきりや認知症高齢者を介護する方の日常生活に直面する悩みについて傾聴し、共感を示しながら必要な情報提供や社会資源の活用など適切な助言を行い、要介護老人とその家族の福祉増進を図ることを目的に相談に応じた。

(単位：人/件)

相 談 内 容	相談員数	相談件数
・日常の介護の悩みについて ・介護技術、介護用品やサービスの利用について など	11	65

(6) 各種事業の開催

①福祉(いきいき)講座

(単位：人)

月日	内 容	参加者数 (延べ)
6/14～ 6/28 (全3回)	◎シニア世代の歌体操教室 /対象：60歳以上の市民 「みんなで始める歌体操 ～歌って動いていきいきライフ～」 講師：ボランティアグループ いきいき歌体操HANDひらかた	新型コロナ 感染予防の為 延期後中止
10/9～ 11/8 (全6回)	◎シニア世代の健康体操講座 /対象：60才以上の市民 「シニア世代の健康体操～脳・心・体の三方良しの健康体操～」 講師：健康運動指導士 康本 貞恵 氏	113
3/25	◎やさしい介護術 /対象：介護に関心のある中学生以上の市民 「現役ホームヘルパーから学ぶ介護のコツと実技」 講師：枚方市社会福祉協議会 在宅福祉課 職員	新型コロナ 感染予防の為 中止

②市民講座

(単位：人)

月日	内 容	参加者数 (延べ)
10/2～ 11/27 (全8回)	◎はじめてのヨガ教室 /対象：40才以上のヨガ初心者 講師：(特活)日本YOGA連盟 先川 秀子 氏	31
11/4～ 12/23 (全8回)	◎はじめての太極拳教室 /対象：50才以上の太極拳初心者 講師：大阪武術太極拳連盟 A級指導員 岸本 康宏 氏 ※12/9, 26, 22は、感染予防に伴う施設利用中止に伴い開催中止	74
8/7	◎夏休み子ども市民講座 /対象：小学生 「万華鏡をつくろう」 講師：万華鏡作家 佐藤 良明 氏	新型コロナ 感染予防の為 中止

③ボランティアセンターとの共催事業

手作りおもちゃ講習会、ボランティア講座等について検討したが、会話・身体接触など密接・密集する場面が多く、感染拡大予防の措置を講じることが難しいことから、会館事業としての開催は中止した。

④福祉図書コーナー啓発事業

(単位：人)

月日	内 容	参加者数 (延べ)
10/25 2/11、2/27 (全3回)	◎利用促進啓発イベント ※市・社協主催行事等と同時開催 「笑いは大事 ～笑って健康・元気に～」 *利用方法・収蔵図書の紹介 *収蔵映像資料の上映 *おすすめ本のレシピア配布 など	新型コロナ 感染予防の為 中止

⑤ラポールいこいのミニライブ開催状況

各グループ・サークルが日頃の練習成果を披露し、観客と膝と膝を合わせた一体感ある手作りライブを開催し、市民交流の場となるよう開催。また、総合福祉会館の啓発を行い、新たな利用者の発掘を行う。会場は1階正面玄関エレベーター前で開催。

*開催状況

月	回数(回)	内 容
4～9	0	※新型コロナウイルス感染予防の為中止
10	2	歌とギターとマンドリン、ハワイアン演奏
11	2	オカリナ演奏、オカリナ楽器演奏
12～3	0	※新型コロナウイルス感染予防の為中止

(7) 運営委員会開催状況

(単位：人)

月日	場 所	内 容	出席数
10/15	ラポールひらかた 集会室	・令和2年度総合福祉会館上半期の運営状況について	8
3/24	ラポールひらかた 集会室	・令和2年度総合福祉会館下半期の運営状況について ・令和3年度事業計画(案)について	7

(8) 研修事業の実施

職員の資質並びに利用者サービスの向上・安全管理の面から下記の研修会を実施。また、関係機関が実施した研修会等にも参加。

(単位：人)

月日	内 容	参加者数
11/27	接遇・人権研修 「車いす障害者の生活」	50
3/19 28	普通救命 (AED) 講習会	20